

施策評価シート

対象事業年度 平成 30 年度

施策3

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進責任者	建設部長・企画調整室長・総務部長・港営部長
施策	3 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者など名古屋港に集うあらゆる人びと	意図(どういった状態にしたいのか)	集客施設の開発や運河の再生、イベント開催等により港湾空間の更なるにぎわいや魅力を創出し、ときめきとやすらぎを感じ、親しまれ、みんなの夢がふくらむ港	
	サービスの対象物(何を)	親しまれる施設(集客施設・運河など)やイベントなど			
展開①	うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生	展開②	民間活力による再開発や既存施設の有効活用によるにぎわい創出	展開③	クルーズ船誘致、イベント、景観づくりによる港の魅力や親しみの向上
	中川運河では、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、緑地・プロムナードの設置、水循環の推進による水質の改善を進めるとともに、水上交通の誘導に向けた体験乗船など、地域住民や企業等との連携を図りながら、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河への再生を図ります。		名古屋港のふれあい・交流拠点であるガーデンふ頭、金城ふ頭において、民間活力を活用し、新たなにぎわい施設の誘導を進めています。また、水族館などの既存施設についても、集客向上の取組や各施設の連携を図り、本港のにぎわい創出に取り組みます。		国内外クルーズ船社、船舶・旅行代理店への誘致活動によるクルーズ船誘致や練習帆船・汽船等の誘致・一般公開を実施するとともに、みなと祭などのイベント開催、歴史的港湾施設の保存や景観づくりにより、港の魅力や親しみの向上に取り組みます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・5年間の状況・令和元年度以降の取組)

コード	事務事業名(担当課名)	指標名【指標型】	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の状況	令和元年度以降の取組
			1段目:指標 目標値	2段目:指標 実績値	3段目:事業費(単年度・人件費込・国費除く)				

【展開①】うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生

施03事101	中川運河緑地(堀止地区)整備事業(事業推進課)	事業進捗率(整備費換算)【進管理型】	70.4%	68.0%	76.9%	78.0%	80.5%	順調	継続
			56.2%	63.8%	73.8%	73.8%	75.5%		
			101,436千円	65,906千円	128,359千円	4,319千円	24,333千円		
施03事102	中川運河水質改善事業(事業推進課)	事業の進捗状況(全7工程)【進管理型】	遅れ	順調	順調	順調	順調	順調	継続
			1工程	2工程	3工程	4工程	4工程		
			29,124千円	38,860千円	94,498千円	16,581千円	36,515千円		
施03事103	中川運河再生計画の推進(金城・中川・南5区担当)	計画における施策を実施した数(全5施策)【進管理型】	2施策	3施策	4施策	4施策	5施策	順調	継続
			2施策	3施策	4施策	4施策	5施策		
			5,032千円	6,621千円	6,583千円	20,757千円	41,860千円		

【展開②】民間活力による再開発や既存施設の有効活用によるにぎわい創出

施03事201	ガーデンふ頭再開発の推進(総合開発課)	ガーデンふ頭におけるにぎわいの創出に向けた検討の進捗状況(全5工程)【進管理型】	-	1工程	3工程	4工程	5工程	順調	重点施策として位置付け継続
			-	1工程	3工程	4工程	4工程		
			29,559千円	24,616千円	38,408千円	44,313千円	59,303千円		
施03事202	金城ふ頭再開発事業の推進(金城・中川・南5区担当)	民間施設の開発誘導までの進捗状況(全5工程)【進管理型】	4工程	4工程	5工程			完了	
			3工程	4工程	5工程				
			15,856千円	17,838千円	20,606千円				
施03事203	名古屋港水族館の振興(関連事業担当)	入館者数【単年度管理型】	210万人	210万人	210万人	221万人	221万人	目標値をやや下回る	継続
			197万人	205万人	197万人	222万人	211万人		
			625,913千円	264,759千円	355,670千円	1,115,053千円	776,990千円		
施03事204	魚釣り施設のあり方検討(企画担当)	検討の進捗状況(全5工程)【進管理型】	3工程	3工程	5工程			完了	
			3工程	3工程	5工程				
			11,107千円	11,603千円	6,719千円				
施03事205	金城ふ頭における円滑な交流拠点開発の推進(金城・中川・南5区担当)	港湾関係者との調整【単年度管理型】	-	-	-	12回	12回	目標値どおり	継続
			-	-	-	12回	12回		
			-	-	-	18,380千円	13,829千円		

【展開③】クルーズ船誘致、イベント、景観づくりによる港の魅力や親しみの向上

施03事301	クルーズ船誘致の推進(誘致推進課)	クルーズ船入港隻数【単年度管理型】	40隻	40隻	40隻	40隻	40隻	目標値をやや下回る	継続
			35隻	34隻	39隻	35隻	44隻		
			53,912千円	115,009千円	67,398千円	46,268千円	97,495千円		
施03事302	名古屋港のPR(広報・にぎわい振興担当)	船舶一般公開見学者数【単年度管理型】	7,700人	7,700人	7,700人	7,700人	7,700人	目標値を上回る	継続
			10,632人	5,058人	8,317人	20,433人	7,755人		
			131,792千円	128,722千円	137,558千円	153,377千円	149,539千円		
施03事303	名古屋港景観基本計画の推進(環境担当)	景観審査におけるカラー計画との整合性率【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	100%	目標値をやや下回る	継続
			88%	86%	95%	94%	88%		
			2,991千円	1,853千円	2,744千円	2,799千円	2,836千円		
施03事304	名古屋港跳上橋整備事業(環境担当)	事業進捗率(整備費換算)【進管理型】	100.0%	100.0%				完了	
			49.0%	100.0%					
			2,467千円	36,603千円					
施策コスト(合計)			1,009,189千円	712,390千円	858,543千円	1,403,467千円	1,188,871千円		

3. CHECK(成果目標の状況・5年間の成果目標の総括)

施策 成果目標	実績等		年度					5年間の成果目標の総括
	目標値	万人	26年	27年	28年	29年	30年	
交流施設の来場者数	目標値	万人	649	649	650	830	830	・目標値を下回る年度が多かったものの、名古屋港水族館では、平成29・30年度と開館以来初めて2年連続入館者数が200万人を越え、また金城ふ頭では、平成29年度に「レゴランド®・ジャパン」等の新たな民間施設の開発誘導を完了するなど平成29年度には来場者数は前年度を大きく上回りました。平成30年度には減少しましたが、天候の影響も考えられるなか、民間施設がオープンした前年度の反動減が主要な要因と思われます。
	実績	万人	630	658	599	803	738	
名古屋港に親しみや魅力を感じた割合	実績	%	95	96	96	96	95※	・イベントなどでのアンケート調査の結果、概ね同じ割合を維持するに留まったものの、多様なイベントの開催や新たな民間施設の開発誘導が完了したこともあり、高い水準で推移しました。

※目標値については、毎年度・対前年度比増としています。

4. ACTION(課題・令和元年度以降の取組)

5年間の達成状況		課題	令和元年度以降の取組
展開①	<p>【事101】中川運河緑地(堀止地区)については、市街地の貴重な水辺空間を活用した緑地を整備し、うるおい、憩い、にぎわいのある運河の再生の進捗が図られました。</p> <p>【事102】中川運河水質改善については、松重ポンプ所の改修に向けて排水管切替等を行い、水循環の促進に向け進捗が図られました。</p> <p>【事103】中川運河再生計画の推進については、ガイドラインの策定や乗船場の設置など5施策について順調に実施できました。具体的には、老朽化した護岸の改修を行うとともに、平成26年に土地貸付のガイドラインを策定し、沿岸用地ににぎわい施設の誘導を行い新たな土地利用の展開を図ってきました。また、水上交通の実現に向けた取組として、体験乗船の実施や暫定船着場を設置し、観光舟運のためのモニタリング調査を行う試験運航を開始しました。更に、事業の調整や連携と取組の進行管理を行う「中川運河再生推進会議」を開催し、関係者との意見交換や情報共有に努めてきました。</p>	<p>【事101】中川運河緑地(堀止地区)については、名古屋市長官民連携事業と調整を図りながら一体的な緑地整備を進める必要があります。</p> <p>【事102】中川運河水質改善施策を推進するためには、関係者とのさまざまな調整が必要です。</p> <p>【事103】中川運河再生計画の推進にあたっては、引き続き、関係機関と連携を図りながら、水上交通の実現、老朽化した護岸の改修、水質改善など運河の再生に向けた取組を推進していく必要があります。</p>	<p>【事101】中川運河緑地(堀止地区)については、名古屋市長官民連携事業と連携して、引き続き、親水緑地の整備を進めていきます。</p> <p>【事102】中川運河水質改善施策の推進のため、関係者の理解を得ながら、着実に事業を進めていきます。</p> <p>【事103】水上交通の実現に向けては、事業採算性などの検証を行っていきます。また、老朽化した護岸の改修とともに沿岸用地へのにぎわい施設等の誘導も行っていきます。更に、「中川運河再生推進会議」の開催など、引き続き、運河の再生に向けて名古屋市長官民連携事業と連携して取り組んでいきます。</p>
	展開②	<p>【事201】ガーデンふ頭再開発の推進については、課題の整理や基本方針の設定などを行い平成29年度に「ガーデンふ頭再開発基本計画」を策定しました。この基本計画に基づいて、民間事業者のアイデアや意見を把握するマーケットサウンディングを実施し事業化の検討に着手しました。また、ガーデンふ頭東地区において、旧倉庫を解体撤去し同地区の一部について暫定利用者を決定しました。</p> <p>【事202】金城ふ頭再開発においては、施設整備を行う関係者との調整を進め、予定通り、平成29年3月にメイカースピア、4月にレゴランド®・ジャパンが開業しました。【平成28年度完了】</p> <p>【事203】名古屋港水族館は、シャチ「アース」購入後のメインプールでの「シャチ公開トレーニング」、「ごまちゃんデッキ(ゴマファザラシ等)」、「くらげなごりうむ」の新たな展示の他、「サンゴ礁大水槽」の改修、「大型映像表示装置」や「ウミガメ回遊水槽」の補修等、施設の老朽化に対応した施設更新を着実に推進しました。また、同館初の人工授精によるバンドウイルカの赤ちゃん誕生など、繁殖実績を積み重ねるとともに、SNSを活用した広告宣伝を始め、広報活動に積極的に取り組み、入館者数は平成4年開館以来初めて2年連続で200万人を超えました。</p> <p>【事204】魚釣り施設のあり方検討については、事業費や安全性等の観点から恒久施設としての実現性が最も高く、優先順位の高い箇所を鍋田ふ頭東側と選定し公表しました。【平成28年度完了】</p> <p>【事205】金城ふ頭の交流拠点開発については、物流機能を阻害しないよう円滑な港湾活動を推進していくため、大規模イベント開催時における交通渋滞への対策等について、交流施設関係者や名古屋市長官民連携、目標値どおり港湾関係者との調整を行いました。</p>	<p>【事201】ガーデンふ頭再開発にあたっては、ふ頭全体の再開発の検討を進めるなかで、既存施設の利活用や官民の役割分担等について民間事業者への意見聴取や国や港湾関係者等との合意形成を図る必要があります。</p> <p>【事203】名古屋港水族館は、更なる集客や施設の良好な維持管理を図るとともに、引き続き、多くの県民・市民等に親しまれる施設として持続的に発展していく必要があります。</p> <p>【事204】魚釣り施設を鍋田ふ頭東側に整備するためには、関係者との調整や今後の財政状況等を踏まえ、整備時期を判断する必要があります。</p> <p>【事205】金城ふ頭において、円滑な交流拠点開発を進めるためには、引き続き、物流機能を阻害しないように推進していく必要があります。</p>
展開③	<p>【事301】関係行政機関、団体、企業で構成する「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」での活動を中心に、国内外のクルーズ船会社等への誘致活動を実施しました。また、同会議において、クルーズ産業の動向や名古屋港が置かれている状況等を確認して課題を整理し、クルーズ船誘致に向けた今後の対応について行動計画を策定しました。</p> <p>【事302】名古屋港のPRについては、Facebookの導入や広報・にぎわい振興室長の設置により情報発信の充実や効果的な名古屋港のPRが図られ、ホームページの改良や名古屋港水族館との連携により、情報発信の強化がなされました。</p> <p>【事303】事業者からの事前相談に対して、景観基本計画及びカラー計画に基づく良好な景観形成に向けた協力要請や、景観アドバイザー制度の活用を促しました。</p> <p>【事304】名古屋港跳上橋整備事業は、保存を目的とした橋脚補修や鋼材補強を行いました。【平成27年度完了】</p>	<p>【事301】クルーズ船誘致に向けた取組は、港湾管理者のみならず関係機関との協力、連携が必要です。また、インターポーティング※による寄港が金城ふ頭においても始まり、多数の乗船者及び下船者があることから、関係機関等と連携したスムーズな対応が求められています。※インターポーティング:起点となる発着港だけでなく、周遊する複数の寄港地での乗下船を可能としているクルーズ。</p> <p>【事302】利用者にとって、わかりやすく伝わりやすい情報発信とするための工夫や方法、利用者ニーズへの柔軟な対応が必要です。</p> <p>【事303】事業者の建築物においても、計画と整合のとれた景観を形成する必要があります。</p>	<p>【事301】「名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議」を通じて関係機関との連携を強化し、引き続き、県民市民のクルーズ船への関心を高めるとともに、行動計画に基づきクルーズ船の誘致に取り組みます。</p> <p>【事302】情報発信の強化や、更なる効果的なPRを行っていくため、多様なニーズの把握に努めるとともに、それらに対する的確な情報発信の工夫を図っていきます。</p> <p>【事303】事業者に対しても、引き続き、計画の趣旨について理解を求め、良好な景観形成を推進していきます。</p>
今後の新たな取組方針			
<p>・中川運河にぎわいゾーンの魅力の向上に向け、覆砂による底層環境の改善や水循環による水質改善など、人々が水辺に親しむ機会の創出に取り組みます。</p>			